

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 自然公園計画デジタル化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 自然公園係 電話番号：058-272-1111(内2927)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,398 千円 (前年度予算額： 8,800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,800	0	0	0	0	0	0	0	8,800
要求額	6,398	0	0	0	0	0	0	0	6,398
決定額	6,398	0	0	0	0	0	0	0	6,398

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

優れた自然の風景地の保護と利用の推進を図ることにより、県民の保健、休養及び教化に資するなど、自然公園が担う役割は大きなものがある。

しかし、本県の自然公園は、国定公園2カ所については平成元年、県立自然公園のうち12カ所については平成2年から平成17年までの再検討(昭和48年11月以前に指定された公園について実施するもの)以降、見直しがされていないことから、社会情勢等の変化が反映されておらず、また、公園区域界の不明瞭など県民サービスの低下を招いている。

さらに、令和4年度には保護と利用の好循環を図るため、自然公園法が大幅に改正され、国においては国立公園の公園計画の見直しがされていく予定である。県においても条例を改正し、公園計画の見直し検討を見据え、公園区域等地理情報のデジタル化を行うとともに、自然体験アクティビティ等に対応した公園計画への変更を行う。

(2) 事業内容

【公園計画のデジタル化】

①：自然公園の自然環境や利用状況の把握

自然公園の自然環境や利用状況を把握し、今後期待できる利用方法の方針など関係市町村と打合せを行う。

- ②：自然公園基礎資料の作成
公園計画を変更するための基礎資料、公園計画資料の作成、公園地図の修正や電子化などを業務委託により実施
 - ③：自然公園計画の見直しのための調査
公園計画の見直しに必要な植生調査や利用状況調査等を業者委託により実施
 - ④：公園計画の変更資料の作成
国への申出資料や岐阜県自然環境保全審議会への説明資料及び公園変更計画の作成を業務委託により実施
- ※①, ②は令和5年度に16公園、③, ④は令和6～17年度に分けて実施

(3) 県負担・補助率の考え方

国定公園の区域変更や公園計画の見直しは、県から国への申出が必要であり、県立自然公園の区域変更や公園計画の見直しは、県の事務である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	73	業務旅費
需用費	66	燃料費、消耗品費
委託料	6,252	公園計画見直し業務
使用料	7	公用車ETC
合計	6,398	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国立公園の公園計画等の見直し要領（令和4年4月1日付け環自国発2204016号）によると、公園計画の見直しに当たっては、GISデータを作成することが望ましいとされている。

(2) 国・他県の状況

環境省では、国立公園の公園計画を5年ごとに見直している。
近隣の愛知県と長野県では、計画的に見直しを実施。

(3) 後年度の財政負担

国定公園・県立自然公園については、それぞれの公園をとりまく自然的・社会的条件の変化に対応させるため、定期的な公園計画の見直しが必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

国定公園の公園計画の見直しは、県の申出により審議されるものであり、また、県立自然公園の公園計画の変更の決定は県が行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

自然公園内の自然環境や自然公園を取り巻く社会情勢の変化に対応するため、公園区域の見直しを実施するとともに、規制計画及び利用計画を現状に合致したものに修正し、保護と利用の好循環を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R 3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R17)	達成率
①公園計画の見直し件数	0	0	0	0	17	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	令和5年度に県立自然公園条例を改正し、自然体験アクティビティ等の制度導入が行われる等、公園計画の見直しの重要性は増加している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和5年度に自然公園計画をデジタル化する業務を実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	公園計画の見直し業務に先立ち、公園計画のGISデータ化を行っており、効率的な見直しが行える体制が整えられている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国定公園・県立自然公園については、それぞれの公園をとりまく自然的・社会的条件の変化に対応させるため、定期的な公園計画の見直しが必要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	なし
組み合わせる理由 や期待する効果 など	